第７回　帯広市産業振興会議次第

日時：平成 21 年 11 月 27 日（金）17:00～
会場：帯広市役所庁舎１０階第６会議室

１　開会

２　会長挨拶

３　議事
⑴　小委員会の状況について（関係資料：資料１・資料２）

⑵　研修会（関係資料：レジュメ）
〇テーマ：「起業を軸にした地域おこし」
〇講　師：公立はこだて未来大学　システム情報科学部　情報アーキテクチャ学科
教授　鈴 木　克 也　氏

⑶　その他
次回の振興会議について
〇ビジョン事業の進捗状況について
〇その他
・日時：2 月　　日（　）　　：～　　：
・会場：未定（別途お知らせ）

４　閉会

帯広市産業振興会議 小委員会設置について～地域経済リサーチ小委員会～

資料１

スケジュール ★ 振興会議 ★ 小委員会	H21.8月 → 9 → 10 → 11 → 12 → H22.1 → 2 → 3 → 4～ ○ 具体テーマやメンバーの協議検討 ○ 随時、小委員会の報告を受け、状況の確認・課題協議・アドバイスなど （情報共有・進行管理） ○ 小委員会の立ち上げ/稼働 ・ 立ち上げ時期は、構成メンバー確定次第、早期に開催する予定
構成メンバー	帯広畜産大学、帯広信用金庫、十勝支庁、振興会議、商工会議所、中小企業経済同友会、市内経済人、市役所
取組みの状況	振興会議でいただいた意見等を参考に、10月29日及び11月18日に振興会議委員の竹川副会長・金山委員・秋元委員で意見交換を実施、下記「テーマの考え方」として整理するとともに、メンバー選考の最終調整を進めており、決定次第、第1回目の小委員会を開催する予定である。

設置に向けた考え方	平成19年度から平成20年度にかけて帯広市中小企業振興協議会で議論されたのは、産業政策の立案と検証には地域の統計的データの分析が不可欠であること。帯広市産業振興ビジョンの点検や修正はもとより、５年後の全面改定作業のためには、地域経済の実態を把握するための継続的な調査研究が必要である。
テーマの考え方	地域経済の状況把握に必要と考えられる行政機関等の基礎的統計資料の収集に努め、地域経済分析に必要な調査研究等を行うとともに、地域経済の活性化・中小企業振興に資する検討を行うもの

ビジョンの位置づけ	中小企業の経営基盤の強化 基本施策　7　地域経済の調査研究 展開事業番号　13　地域経済の調査・分析 調査分析の効果的実施、有効活用等
ビジョンの記載内容	展開事業(13)■地域経済の調査分析 ●地域内経済循環の現状を把握し、施策の効果を測定するためには、継続的に地域経済の調査分析を行う必要があることから、行政、経済団体、大学、試験研究機関、金融機関等の連携のもと、調査分析の効果的実施や有効活用を進めます。 ●地域の中小企業者等の実態調査について、実態分析や施策の効果測定などに活かすよう実施時期や調査内容の研究を進めます。
設置の必要性	地域経済の現状把握は産業振興ビジョンはもとより、産業政策立案や施策の点検のためには必要不可欠なものであり、関係する部署機関が多岐にわたるほか、継続的な把握をする体制構築が早期に必要であると判断したもの。

［最終更新 H21.11.27 ver.05］

帯広市産業振興会議 小委員会設置について～十勝のストーリーづくり検討小委員会～

資料２

スケジュール ★ 振興会議 ★ 小委員会	H21.8月 ｜ 9 ｜ 10 ｜ 11 ｜ 12 ｜ H22.1 ｜ 2 ｜ 3 ｜ 4～ H23.3 ○ 具体テーマやメンバーの協議検討 ○ 随時、小委員会の報告を受け、状況の確認・課題協議・アドバイスなど （情報共有・進行管理） ○ 実施事業者選定（三菱UFJR&C社） ○ 小委員会立ち上げ＝「十勝帯広地域ブランド化推進研究会」設置（11/19） ※平成２１年度知財先進都市支援事業（特許庁）の活用
構成メンバー	座長：㈱ホクコー岩橋代表取締役ほか委員５名、オブザーバー：帯広商工会議所ほか４機関
取組みの状況	別紙 資料２（補足） ～帯広十勝地域ブランド化推進研究会について～ 参照

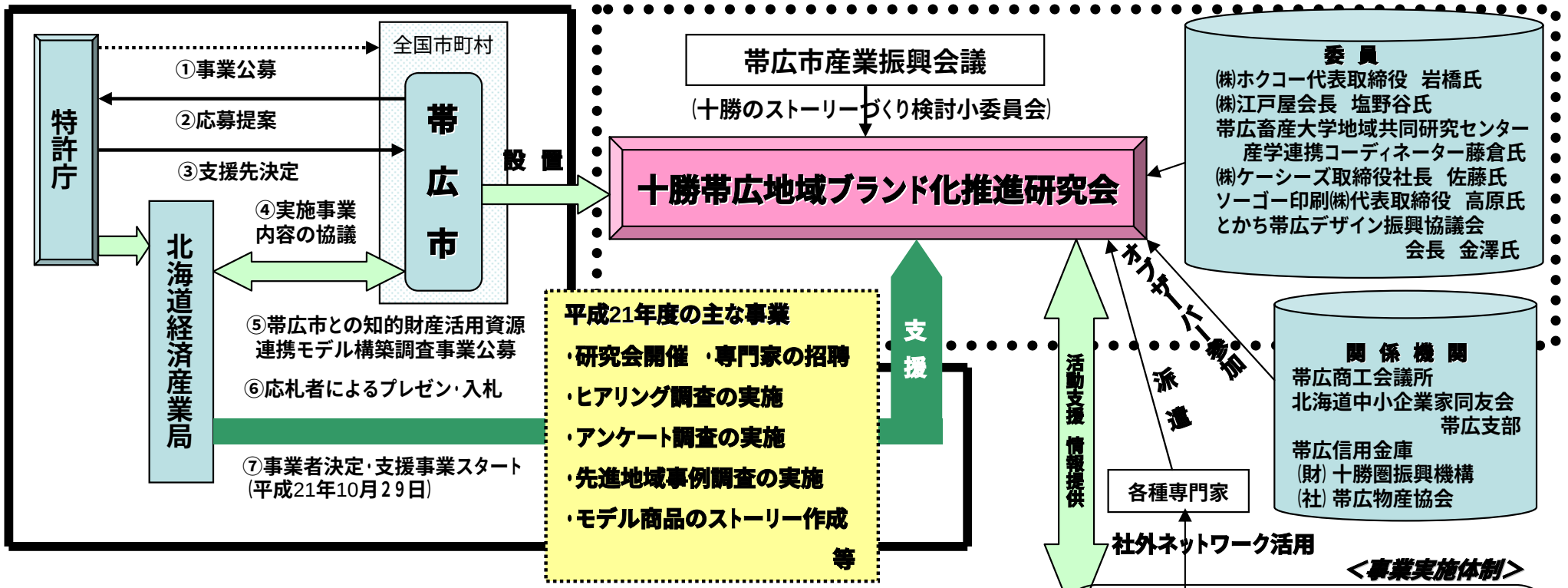
設置に向けた考え方	帯広市は経済産業省特許庁「知財先進都市支援事業」（北海道経済産業局実施）に申請し採択されたことから、十勝のストーリーづくり検討は本事業を活用することとした。同局では入札等を行い、事業実施者として三菱UFJR&C社を選定。帯広市は同社との共同事務局により、「十勝帯広地域ブランド化推進研究会」を11月19日に設置。
テーマの考え方	研究会はH22年度までの2ヵ年間設置する予定。「ブランド化＝売れる商品づくり」を基本コンセプトとした取り組みを検討。今年度の主な事業内容は、モデル商品を選定した上で、外部プランナー招聘など地域外からの客観的な視点を導入しつつ、そのモデル商品に係るマーケティング調査、先進事例ヒア等を通じ、ブランド化の基礎となるストーリー作成を行う。

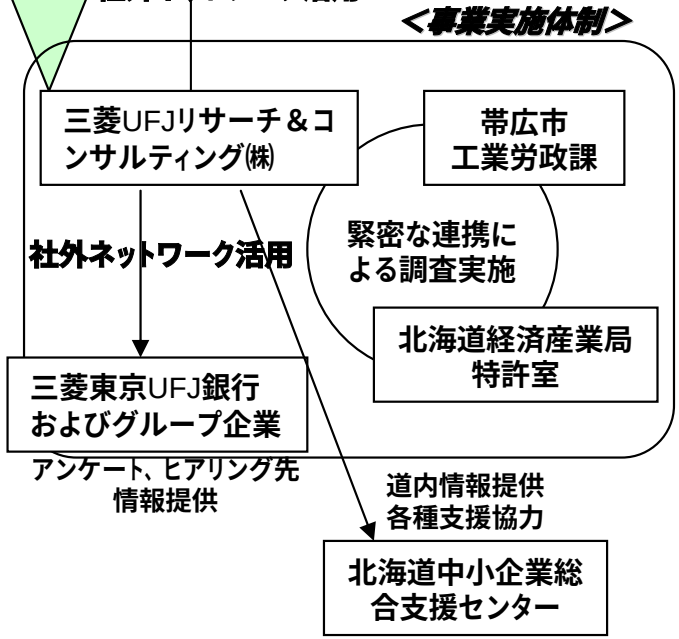
ビジョンの位置づけ	ものづくり産業の振興 基本施策 14 地域ブランドの形成 展開事業番号 27 市場開拓・販路拡大 十勝のストーリーづくり検討会の設置
ビジョンの記載内容	展開事業(27)■市場開拓・販路拡大 ●「十勝（とかち）」のイメージを更にアピールするため、ものづくりや商品に付随するストーリーを創出する取り組みを進め、十勝を総合的にプロデュースする活動を検討し、売れる商品戦略の取り組みを進めます。
設置の必要性	十勝においては、JA帯広市川西、JA帯広大正の両農協が地域団体商標登録制度、十勝ブランド認証機構が品質・衛生面の自主基準を定めた認証制度を活用し、技術的な側面からの「ブランド化」に向けた取り組みを進めている。生産、加工においては「一流」の商品に、イメージ戦略を加えることにより、市場開拓、販路拡大につなげるよう取り組む。

［最終更新 H21.11.27 ver.05］

十勝帯広地域ブランド化推進研究会について

資料2(補足)





＜事業者＞

事業者の入札、および事業者提案内容に基づき、プレゼンテーション会を実施(応札5社)
(平成21年10月28日
北海道経済産業局にて)

↓

内容の審査及び、入札価格から評価し、落札者を決定。
(平成21年10月29日
北海道経済産業局にて)

↓ 落札

***三菱UFJリサーチ＆コンサルティング社*に決定**
担当者：主任研究員　鶴田哲也

＜課題＞

①商標品目は素材が中心。消費者への直接的な訴求力が弱い
②個々の商品を束ねた地域全体のブランド化戦略が弱い
③他の先進事例(夕張メロン等)に比較してブランド化が不十分
④このため販路拡大(=ブランド化)に直結していない

＜帯広市産業振興ビジョンにおける位置づけ＞

ものづくり産業の振興
基本施策　14　地域ブランドの形成
展開事業番号　27　市場開拓・販路拡大

展開事業(27)■市場開拓・販路拡大
「十勝(とかち)」のイメージを更にアピールするため、ものづくりや商品に付随するストーリーを創出する取り組みを進め、十勝を総合的にプロデュースする活動を検討し、売れる商品戦略の取り組みを進めます。

ブランド化過程のショーケース化を目指します！

『起業』を軸にした地域活性化
（函館での事例を参考に）

2009年11月27日

公立はこだて未来大学
鈴木克也

地域にとって厳しい環境変化

地方都市共通の問題

- 大都市圏への一極集中
- 地方都市の構造変化（都市のスプロール化・モータリゼーション・中心地の空洞化）
- 地方都市の人口減少（若年層の減少、出生率の低下、高齢化）
- 地域政策の破綻

（地方総合開発計画の限界、地方財政の破綻公共事業の削減）

→ 『それでも文化は地方から』

地域における『起業』の条件

地域資源の再発見
- 地域資源発見隊
- 「まちづくり点検隊」
- 地域資源データベース

マーケティング
- テーマ設定（新しい切り口）
- マーケットへのアクセス
- コミュニケーション

イノベーション
- 技術開発テーマ
- 商品コンテンツ
- 商品開発プロセス
- 技術の蓄積と波及

起業を支える仕組み
- スクールの役割
- 産官学の協力
- 住民の支持

地域資源の再発見

- 地域資源が浮かび上がってくる仕組み
  - 「函館の良いところ100」
  - 「函館の〇と×」
  - 「地域資源データベース」づくり
- 地域資源とストーリー
  - 作り手、語り部とのコミュニケーション
  - 地域資源の差別化

オープンイノベーション

野中郁次郎・勝見明「イノベーションの本質」

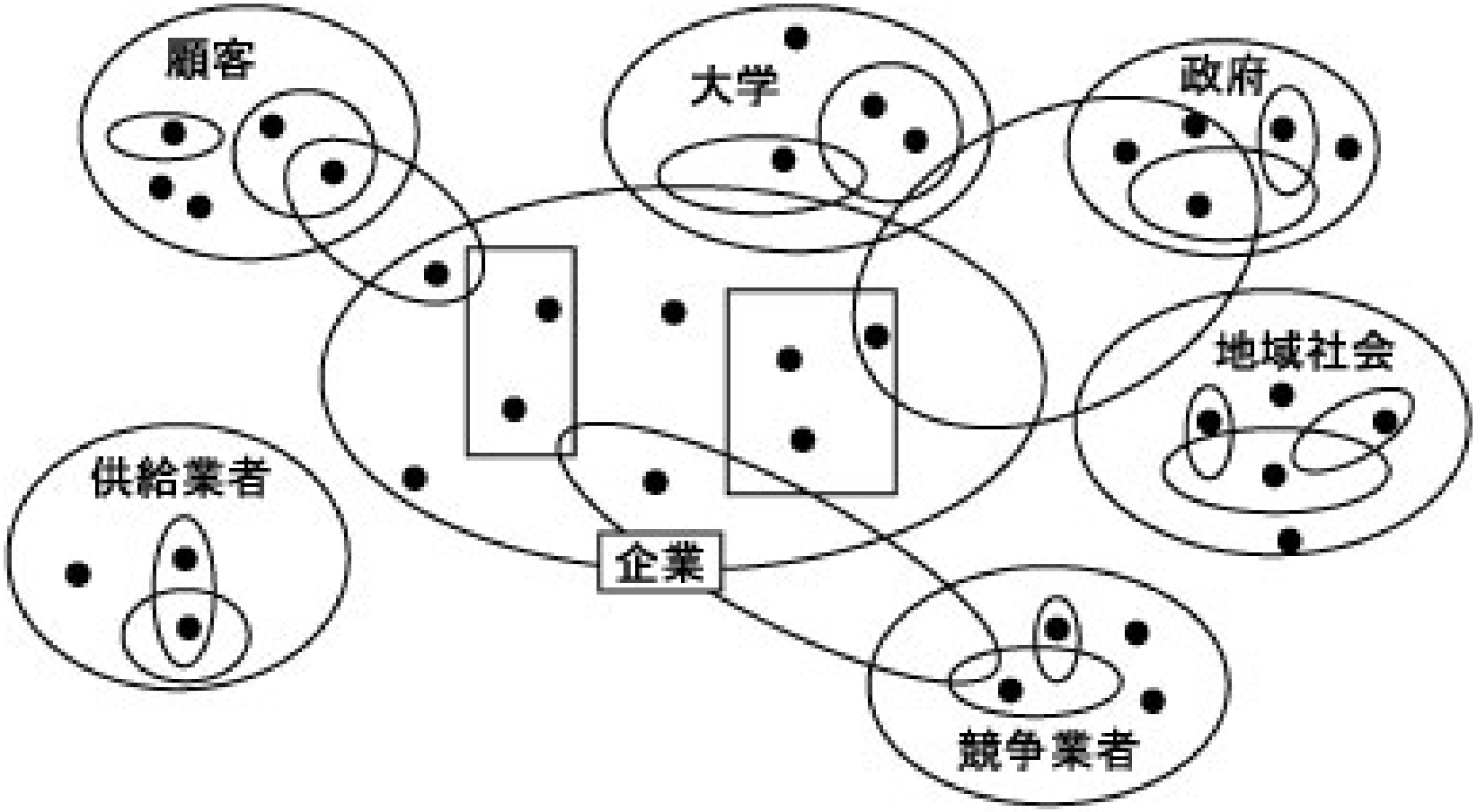
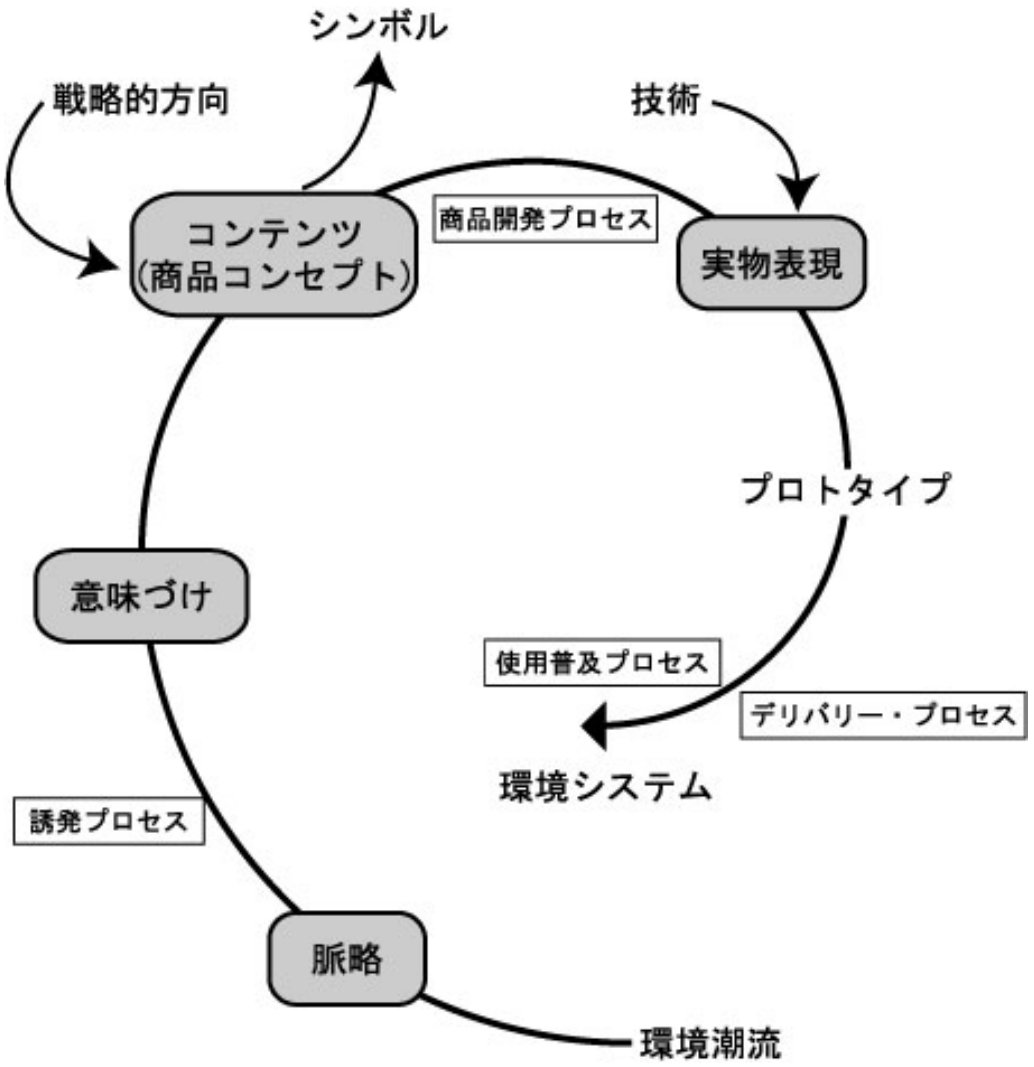


図２．知を動員する「場」の組織

イノベーションのスピンサイクル

織畑基一「ラジカル・イノベーション戦略」



地域マーケティング

「地域マーケティング」の内容

１．地域のマーケティングテーマの発掘
（地域資源の再評価、発掘、テーマの集約）、
２．地域のオリジナリティの創出
（地域プロダクツの開発とブランド化）
3．地域情報の収集と発信
（地域情報の蓄積、ストーリー化、メディアミックスによる情報の発信、顧客とのコミュニケーション）
４．大都市マーケットへのアクセス
（アンテナショップ、顧客の組織化）

「マーケティング」の精神」

１．顧客第一主義
２．新しい「価値」の創造
３．顧客とのコミュニケーション
４・組織の活動プロセス

BP作成スクールの企画①

〇地域の企業家を囲む有志（行政、支援側勉強会）
〇地域の起業化発掘の研究会活動（若手企業家、行政、支援側）・・・・”新事業創造研究会”

↓

〇企業の新製品開発に対するＢＰ相談会開催
”ビジネスプラザ”

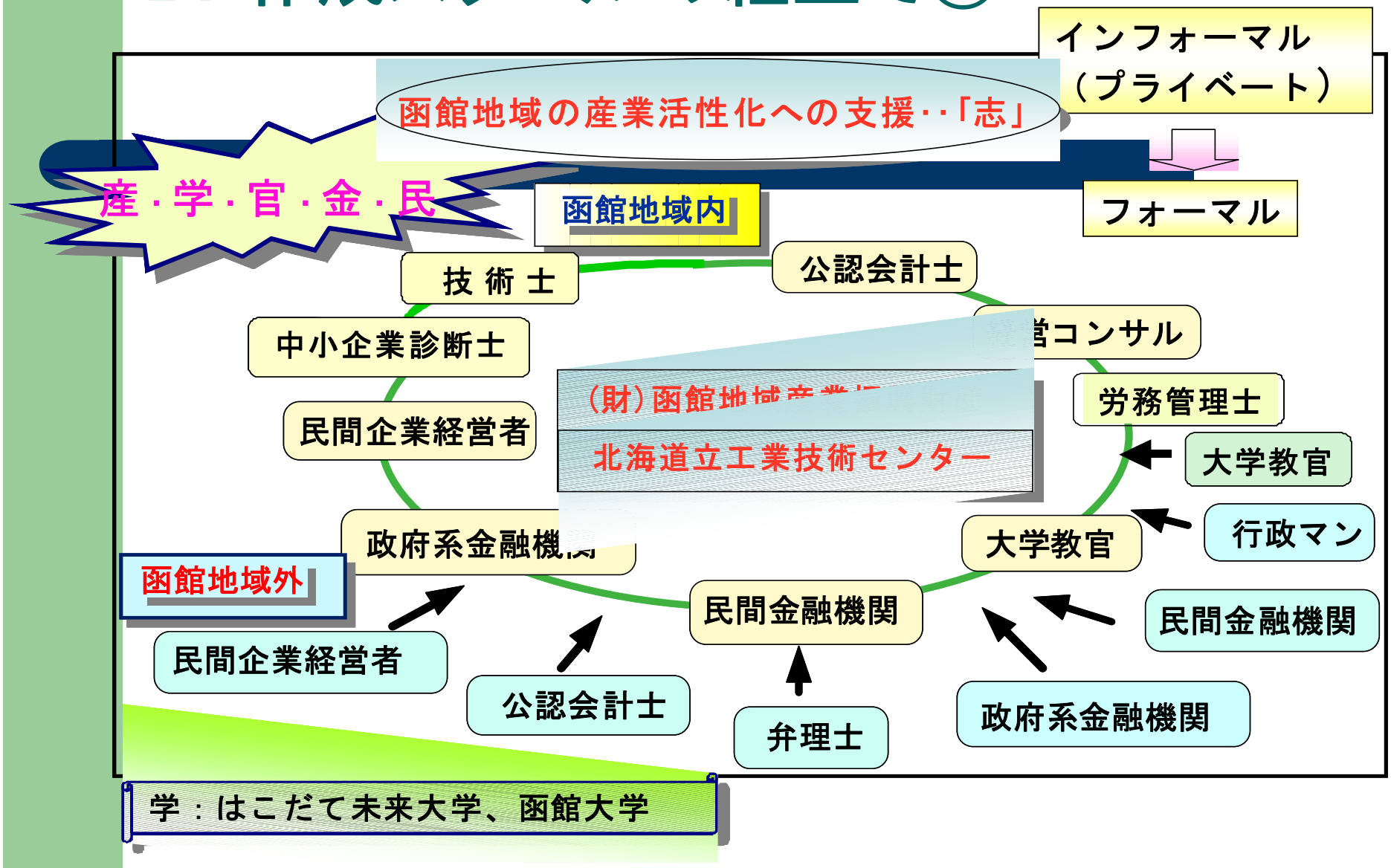
人

〇地域支援者のインフラ整備
支援者（地域の活性化支援の『志』）

↓

〇地域講師陣による自前のＢＰ作成スクール開校

BP作成スクールの組立て②



BP作成スクールの企画③

- **本格的**・・・・・・・・・演習を主体にしたカリキュラム
  （50時間で本格的なビジネスプランを）
- **現実的・戦略的**・・テーマ設定、即実現可能なもの
  （「函館らしさ」）
- **異質な組合せ**・・・経営者、技術者、市民、学生
- **専門家の参加**・・・会計士、診断士、マーケッター、銀行、大学
- **発表会と交流会**・・「オープン性」
- **フォロー**・・・・・・・・・補助金・融資申請、コンサルティング

BP作成スクールの状況(演習風景）

BP作成スクールの状況(発表会風景）

BP作成スクールの状況(交流会風景）

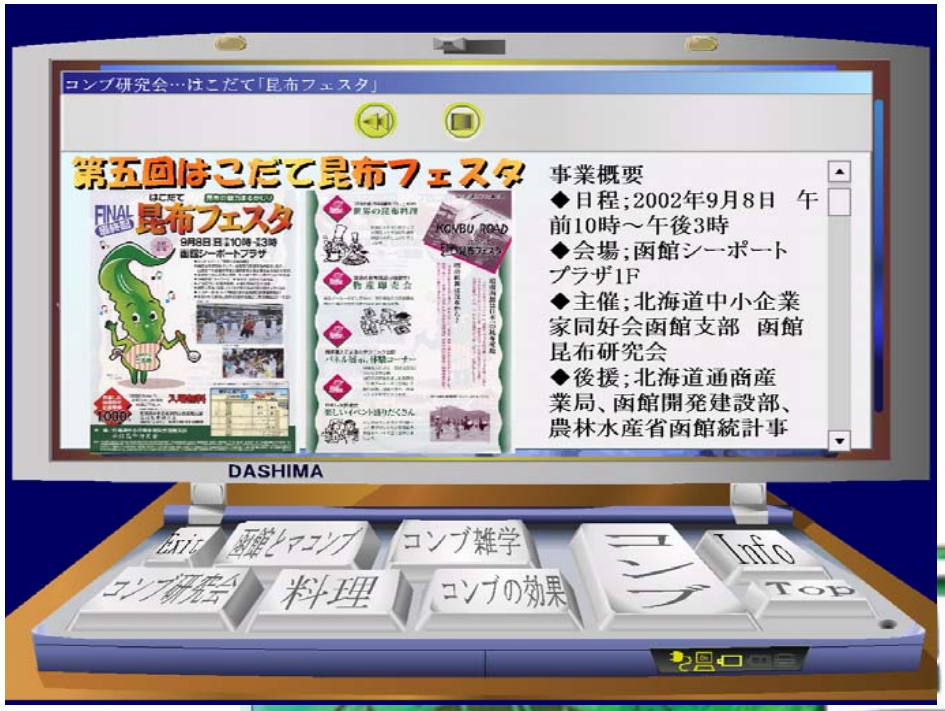
函館BP作成スクールの受講者数

（人）

		平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
男女別	男性	27	33	30	19	19
	女性	6	5	3	11	7
年代別	～20歳代	7	14	12	8	6
	30歳代	11	14	12	13	4
	40歳代	6	6	4	6	11
	50歳代	7	4	4	3	3
	60歳代～	2	0	1	0	2
職業別	経営者等	13	3	3	5	4
	会社員等	16	29	28	20	13
	学生	4	6	2	5	4
合計		33	38	33	30	26

作成されたビジネスプラン

平成１４年度	新規事業の開拓（鉛おもり）
	環境ビジネス（酸化チタン）
	観光ビジネスグループ
	セピアインクを使ったニュービジネス展開
	玄米と牛乳の異色の組み合わせで食の革命
平成１５年度	市民が主役・新観光都市函館づくり
	本当に旨い物は手に入らないーだから私達が食べさせますー
	海洋深層水を使用した「ミネラル補給食品」の製造販売事業
	高齢社会へのビジネス機会 ～人材派遣会社、コンサルティング会社～
	ラジコンヘリを用いた研究開発型新事業
平成１６年度	測量業界に変革をもたらす「ｴﾆｾﾝ」の事業展開
	本格コンブ酢「コロンブ酢」-食の新発見を追及する-
	高級宝飾品”KAZUO”セレクション
	アクティブパートナー事業
	ﾍﾟｯﾄ特化型会員制ﾀｲﾑｼｪｱﾘｿﾞｰﾄｸﾗﾌﾞ
平成１７年度	廃材ガラスの再利用
	健康維持商品の研究開発販売
	廃木材を利用した「エコパネル」
	函館発の化粧品
	ユビキタス観光～Hakodate Style～
平成１８年度	土壌改良材（特殊肥料）の製造・販売
	笑顔をつなげるハーブリングハーブとの出逢い～そして、ありがとう
	測量機器のメンテナンスドクター
	新しい弁当企画会社～第一弾ポロトの里を通して～


コンブ研究会…はこだて「昆布フェスタ」
第五回はこだて昆布フェスタ
事業概要
◆日程;2002年9月8日　午前10時～午後3時
◆会場;函館シーポートプラザ1F
◆主催;北海道中小企業家同好会函館支部　函館昆布研究会
◆後援;北海道通商産業局、函館開発建設部、農林水産省函館統計事
DASHIMA
コンブ雑学
コンブ研究会
料理
コンブの効果
コンブ
Info
Top

函館がごめ
函館がごめのポータルサイト
がごめ大辞典へ
がごめの博士
Whats がごめ
生産者ｲﾝﾀﾋﾞｭｰ
がごめランドへ
コンテンツ
ホーム
WHATSがごめ
がごめ昆布の不思議
生産者のインタビュー
がごめの博士
がごめ大辞典へ
がごめの博士
What's がごめ
生産者インタビュー
がごめランド
サイト内検索:
Search

オクトーバーフェスタ

第1回 はこだてオクトーバーフェス
主催／はこだてオクトーバーフェスタ実行委員会

第1回 はこだてオクトーバーフェスタ

「函館フェアの開催」

- **大都市圏での拠点の確保**

（「まるごと北海道」「北海道フーディスト」「函館美鈴」・・・）

- **観光情報と特産品のセット**

（函館ウエルカムムービー、パンフレット）

（昆布製品、ジュース類、カレー、菓子、深層水化粧品、イカ墨タオル・・・）　＊4日間で約20万円の売上

- **道南ファンの組織化**

（「道南会」「ふるさと会」「同窓会」「ふるさと観光大使」「函館ファン会」・・・）　＊定期的に情報発信する仕組みの必要性

ハコレコ
観光と交通のポータルサイト

| お問い合わせ | サイトマップ

観光 | お店 | 交通 | 地場特集 | ハコレコとは

観光
Siteseeing

最新特集

① 函館の真昆布に 海の美味しさ つめました
マルキチ食品
② ワイナリーが贈る 選ばれた味
はこだてわいん 七飯の林檎ジュース
③ イカ墨が作り出す 暖かい天然セピア色
文字堂 イカ墨インクの風呂敷セット

特徴1：動画が見れる！！

函館で話題の商品が動画で見れる！今、函館では何が人気なの？この地域ならではの掘り出し物

会員ログイン
Members Login
ユーザー名
パスワード
次回から自動的にログイン
ログイン
※ID・パスワードを忘れた方はこちら

新規登録をする(無料)

特集一覧
Local Feature
下の画像から詳細が見れます。

エコハ運動

地域のより良い環境と食を伝えるコミュニティメディア

エコハ ecommunity hakodate

TAKE FREE ご自由にお持ち下さい

秋 号
2009 Autumn
Vol.6

CONTENTS

はこだて フードフェスタ in東京開催 1
みなみ北海道 生産ガイドマップ 2・3
フューチャー・アイ 4
シェフの料理 5
読者プレゼント 6
イベント情報 7

自然・人々・社会を繋ぐエコミュニティ ハコダテ路して「エコハ」は誌面とインターネットを活用しながら、自分たちが身近に出来る地球環境にやさしいエコロジー活動を支援する市民参加型メディアです。

ホームページアドレス: http://www.ecoha.net 【皆様のご意見をお待ちしています。】

はこだてフードフェスin東京開催

生産品

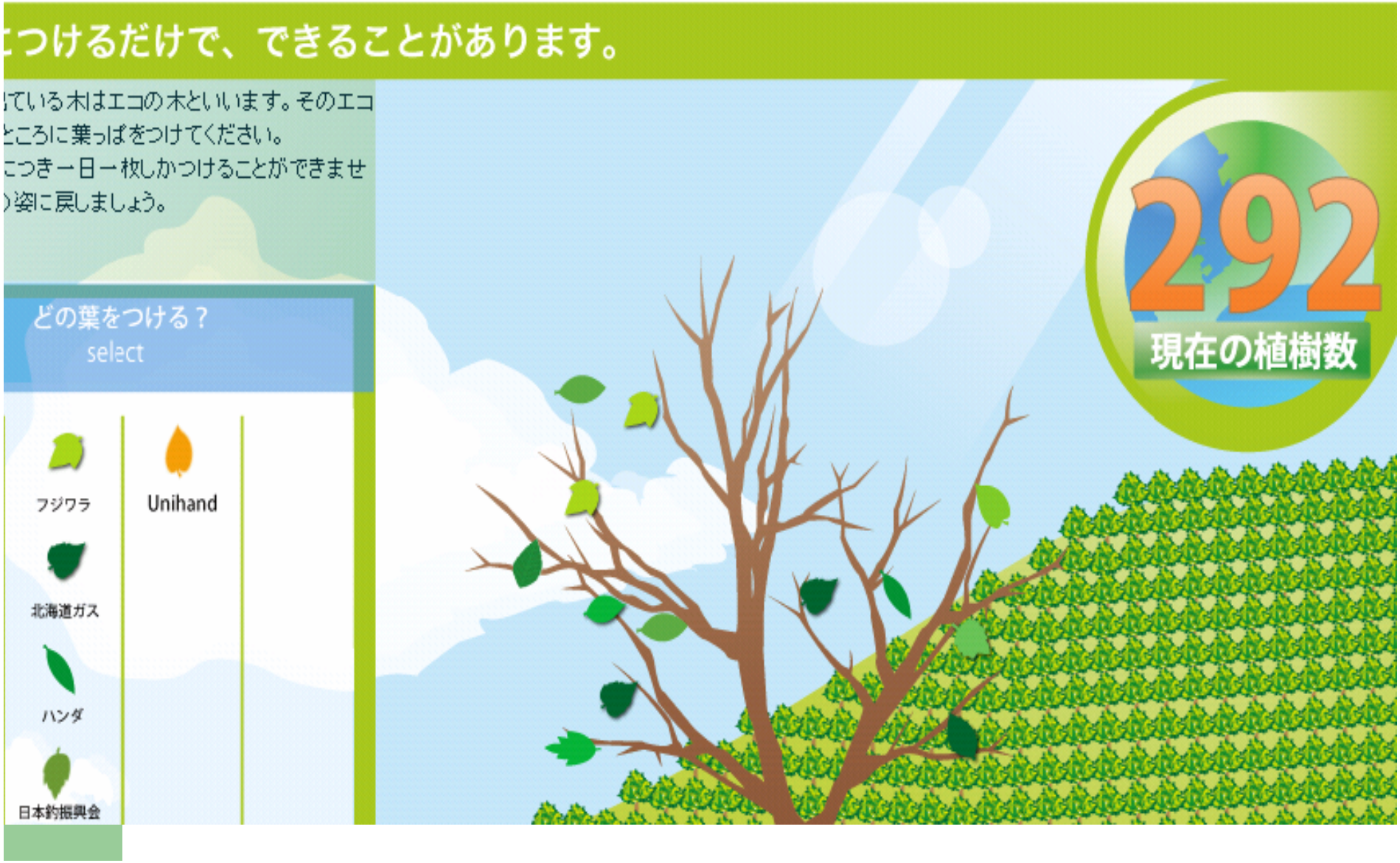
一般社団法人 北海道中小企業家同友会函館支部が実行委員会の事務局となり、みなみ北海道で生産、加工されている食材を取り揃え毎年開催されている「はこだてフードフェスタ」。

この企画は、みなみ北海道地域の第1次生産者、中小企業家、そして自治体や行政職員の仲間で、食の安全・安心、食料問題、食育、地域と食文化、食と新しい仕事づくり等を意欲的に学びながらその成果を発表し市民の方々との交流を図ってきました。

第1回、2回は函館の五島軒から始まり、昨年の第3回は函館大沼プリンスホテルにて行われました。会場では良質な道産食材を使用した料理の数々が並び、生産者が説明する食材の生産過程や現場の状況などを聞きながら食事を愉しむことができます。また、生産者や加工業者が直接販売するブースも構えられ毎年好評を博しています。

そして第4回を迎える今年は東京のグランドプリンスホテル新高輪 飛天での開催となります。優れた食材とこれまでの思いや活動内容を東京圏をはじめ多くの来場客へ伝えることにより、地域の魅力を発信しPRします。この取組が食材の需要や観光への橋渡しとなり活性化へと繋がることを目的としています。みなみ北海道の魅力が今、大きく広がろうとしています。

Yeco宣言


につけるだけで、できることがあります。
ている木はエコの木といいます。そのエコ
ところに葉っぱをつけてください。
につき一日一枚しかつけることができませ
の姿に戻しましょう。
どの葉をつける？
select
フジワラ
Unihand
北海道ガス
ハンダ
日本釣振興会
292
現在の植樹数